

若手職員研修 ① を開催しました

主催：香川県森林センター

日時：令和4年6月14日（火）10:00～15:30

場所：森林センター実習室ほか

参加者：林業関係部署の若手県職員（一般事務職2名、林業職3名）

西部林業事務所、みどり整備課、森林センターの職員（指導者7名）



① 森林センター所長による講義「香川の森林・林業及び施策の概要について」では、県職員としての自覚をはぐくみました。



② 西部林業事務所長による講義「今、なぜ薪か」では、香川の山の歴史をふりかえり、広葉樹を活用する必要性を学びました。



③ 西部林業事務所の担当による指導のもと火起こしに挑戦です。樹種によってはぜる音や香りが違うことに気づきました。



④ 一晩オレンジジュースに浸したヤマザクラの板に食材を載せ、アルミホイルで包む「ウッドプランクグリル」をします。



⑤ くべる薪の樹種で火加減が調整できることを学んだり、各自用意した食材に木の香りが移って普段と違う味覚を体験しました。



⑥ 火の当番と交代で、薪割りにも挑戦しました。山から出た材を薪にする過程もまた大変であることがわかったようです。



⑦ 森林センターの林業普及指導員による講義「山での注意点について」では、事前に知っておくべき安全の知識を習得しました。



⑧ 安全対策の実習としてハチトラップを作りました。5人それぞれ別の誘引液で作り、注意書き等に工夫を凝らしています。



⑨ ふりかえりでは「楽しく学ぶことができた」「もっと木材の需要を高めたいと思った」等の感想がありました。

（香川県森林センター 林業普及指導員）